

愛知県情報公開審査会答申の概要

答申第 1090 号（諮問第 1740 号）

件名：行政文書ファイル名が平成 31 年訂正書類 保管が交通規制課庶務係分の
不開示（不存在）決定に関する件

1 開示請求

令和 5 年 2 月 24 日

2 原処分

令和 5 年 3 月 6 日（不開示（不存在）決定）

愛知県警察本部長（以下「処分庁」という。）は、別記の開示請求に係る行政文書（以下「本件請求対象文書」という。）を、愛知県情報公開条例（平成 12 年愛知県条例第 19 号。以下「条例」という。）第 11 条第 2 項（開示請求に係る行政文書を管理していないとき）に該当するとして不開示とした。

3 審査請求

令和 5 年 3 月 27 日

原処分の取消しを求める。

4 諮問

令和 5 年 5 月 9 日

5 答申

令和 6 年 1 月 30 日

6 審査会の結論

処分庁が、本件請求対象文書について、不存在を理由として不開示としたことは妥当である。

7 審査会の判断

(1) 判断に当たっての基本的考え方

条例第 5 条に規定されているとおり、何人も行政文書の開示を請求する権利が保障されているが、開示請求権が認められるためには、実施機関が行政文書を管理し、当該文書が存在することが前提となる。

当審査会は、行政文書の開示を請求する権利が不当に侵害されることのないよう、処分庁及び審査請求人のそれぞれの主張から、本件請求対象文書の存否について、以下判断するものである。

(2) 本件請求対象文書について

行政文書開示請求書の内容を基本として、審査請求書や処分庁が作成した弁明書の内容も踏まえると、本件請求対象文書は、愛知県警察本部交通部交通規制課庶務係が、平成 31 年訂正書類という名称の行政文書ファイルに保管している行政文書であると解される。

(3) 本件請求対象文書の存否について

ア 処分庁によれば、行政文書が訂正書類という名称の行政文書ファイル内に保管されているか確認をしたところ、存在しなかったとのことである。

当審査会において処分庁に確認したところ、当該行政文書ファイルは愛知県財務規則（昭和 39 年愛知県規則第 10 号）第 64 条の 2 で規定される支出命令の訂正の処理に関する書類等を保管すべきファイルであるが、平成 31 年においては当該処理を行うべき事象が発生しなかったため、結果として保管すべき行政文書も存在しなかったとのことである。

イ 以上のことからすれば、本件請求対象文書を作成又は取得しておらず、開示請求に係る行政文書を管理していないとする処分庁の説明に特段不自然、不合理な点があるとは認められない。

(4) 審査請求人のその他の主張について

本件請求対象文書の存否については、前記(3)において述べたとおりであることから、審査請求人のその他の主張は、当審査会の判断に影響を及ぼすものではない。

(5) まとめ

以上により、「6 審査会の結論」のとおり判断する。

別記

行政文書ファイル名が平成 31 年訂正書類 保管が交通規制課庶務係分